

開成の杜

第127号 ●2025年6月10日 ●郡山女子大学大学院 ●郡山女子大学 ●郡山女子大学短期大学部 ●郡山女子大学附属高等学校 ●郡山女子大学附属幼稚園

●発行所／学校法人郡山開成学園 〒963-8503 郡山市開成3丁目25番2号 ☎024(932)4848(代) <https://www.koriyama-kgc.ac.jp> ●発行人／学園長 関口 修

旅立ち そして 出会い



季節の移ろいに満開の桜を思い出し、その華麗な美しさと対照的に神秘的な畏敬を感じることはありません。神秘的と感じた思いは歌舞伎や小説にも描かれているように、日本人の文化性に依拠しているのではないかと思います。

開成の地に住み八十年余、この地の偉大さに育てられてきました。

学園の周囲に目を向けると、歳月の流れが地域社会の景色をかえながら変化しています。

江戸時代末期、この地一帯は大槻ヶ原と称され、二本松藩の御狩場でした。戊辰戦争で幕藩体制が崩壊し、明治政府の廃藩置県令が發布され、武士は仕事を失いました。

失業した武士の救済措置として、明治政府最初の事業が、この大槻ヶ原の開墾事業とされたのです。

明治政府の命により、遠くは九州や四国、東北各地から、武士が刀を鋤や鍬に持ち変え、開墾事業が開始されました。

当時の大槻ヶ原は荒涼とした狐狸や野鳥の跋扈する荒野で、開拓の苦勞は筆舌に尽くせないものであったでしょう。土地を耕す用水もない開拓は困難の極みと文書に記されています。これらの状況を察知した政府は猪苗代湖の水利活用を目論み、明治12年に猪苗



理事長・学園長
関口 修

開成山と桜

代湖からの疏水工事を起工し、三年後には安積疏水の根幹が完成しました。

この大事業は寒村であった郡山を一大工業都市に変革したのです。

疏水の活用は農業用水と共に、発電による繊維工業や化学工業を起し、鉄道（東北本線）など富国興業の先駆けを創り上げました。さらに、注目すべきことは開拓者の苦勞には娯樂が不可欠と考え、灌漑用水による池を三カ所（現在の開成山公園、野球場や陸上競技場、豊田浄水場跡）造り、土手に桜を植樹しました。更に、開拓者の心の拠所として勅許による伊勢皇大神宮の御分霊、開成山大神宮を造営し、同時に安積郡役所として現在の開成館が設けられました。

皆さんが日常目にしている正門西側の老校は安積疏水の水路保護と人々が季節を樂しめるように配慮した桜であり、せせらぎ小道の地下には巨大水路管が埋設されています。

市民の生活を守っている安積疏水の役割は郡山全体の命ばかりではなく、近隣の町村にまで縦横に張り巡らされた水路は地域社会の大切な宝であるべきです。

本学は来年で創立80年を迎えます。創立当初は周辺の水路に蛍が飛び交い、きれいな天の川が見られました。

開成の杜の開成成務は開拓者の心意気であり、私たち学生・生徒・園児・教職員が引き継ぐべきものではないでしょうか。

創立80周年を前に更なる発展誓う

79周年記念式典 永年勤続者表彰も



更なる発展を誓った創立記念式典

学校法人郡山開成学園の創立79周年記念式典は創立記念日の4月22日、建学記念講堂で行われた。

大学院、大学、短期大学部、附属高校の学生・生徒と教職員ら約1100名が出席した。関口修理理事長・学園長が「来年は創立80周年を迎えます。『尊敬・責任・自由』という人間として大切な理念を持ち続け、学園の発展とともに安心できる社会を築けるよう努めてまいりましょう」と式辞を述べた。

若者賛歌では創立者の故関口富左名譽学園長が作詞し、学生・生徒へ贈った「吾子（あ

▽勤続10年＝澤渡優喜、柴田卓、岡崎友亮



記念撮影をする永年勤続者

就職部より

令和6年度は売り手市場で、学生の企業選びの基準や企業の採用活動に変化が見られた。採用活動開始時期が早ま

令和6年度 附属高校における進路状況について

令和6年度卒業生の希望進路先合格・内定の割合は99.2%となった。進路先の内訳としては、進学が84.5%、就職が14.7%である。昨年度は進学において、第一志望校への合格率が89.8%、特待生不合格等を除く実質第一志望達成率は96.9%と高い結果となった。就職についても受験1社目での合格率が94.1%となり、いずれも生徒本人の意識の高さと努力がうかがえた。

進学では本大学、本短期大学部への進学率が42.2%であり、国立大学や他私立大学・短大への進学率が21.6%、専門学校への進学率は20.7%であった。例年と比較し、本大学、本短期大学部への進学が大幅に増えた。その分就職が減った印象である。また、昨年度も年内入試（総合型選抜・学校推薦型選抜）での

合格率が高く、多種多様な指導が求められる年内入試において個別指導を始めた学校全体での指導が活きている結果であった。前述のとおり、第一志望校の合格率が高く、本大学をはじめ、国公立大学、他私立大学等、いずれにおいても「第一志望達成」を目標とし、しっかりと対策した上での受験であったと考える。

就職においては、昨年度に続き高卒求人倍率が高かった。また、初任給を昨年より大幅に上げた企業も多数あり、企業側の高卒採用への意欲も強く感じた。今後も希望職種とのマッチングを慎重に見極めて就職指導を進めたい。

今年度も附属高校として、キャリア教育を推し進めつつ、生徒の未来を拓くべく進路指導を行っていく。

●令和6年度 附属高校進路先一覧

進路先		人数	進路先		人数	進路先		人数
大学 33名	郡山女子大学	11	専門学校 24名	宇都宮歯科衛生士専門学校	1	品川プリンスホテル	2	令和7年3月31日現在 在籍(116名)
	福島大学	3		郡山健康科学専門学校	2		大東銀行	1
	山形大学	1		郡山ヘアメイクカレッジ	2		東北アルフレッサ株式会社	1
	都留文科大学	1		郡山理容学校	1		株式会社ハンサム	1
	筑波大学	1		国際アート&デザイン大学校	4		日立Astemoリガール	1
	国士舘大学	2		国際医療看護福祉大学校	1		ホテルハマツ	1
	駿河台大学	1		国際ビューティ&フード大学校	1		株式会社八幡屋	1
	仙台大学	1		しらかわ介護福祉専門学校	1		山崎製パン株式会社	2
	順天堂大学	1		仙台医療秘書福祉&IT専門学校	1		株式会社ヤマダデンキ	1
	中央学院大学	1		専門学校デジタルアーツ仙台	1		株式会社ミールケア	1
	東京女子体育大学	1		総合学園ヒューマンアカデミー仙台校	1		福島県警	1
	東北福祉大学	1		つくば国際ペット専門学校	1	受験中・その他		1
	常磐大学	1		日本アミ・マカ専門専門学校	1			
	日本体育大学	1		日本外国語専門学校	1			
	人間総合科学大学	1		日本調理技術専門学校	1			
	福島学院大学	1		福島県理工専門学校	1			
	文教大学	2		東京都立北多摩看護専門学校	1			
	文星芸術大学	1		ポラリス保健看護学院	1			
	立教大学	1		福島看護専門学校	1			
短大 41名	郡山女子大学短期大学部	38	就職 17名	株式会社あいの里	1			
	会津短期大学	1		石橋工業株式会社	1			
	いわき短期大学	1		一般財団法人太田綜合病院	1			
	つくば国際短期大学	1		郡山ワシントンホテル	1			

り、就職活動期間も長期化する傾向が見られ、早期からの情報収集や準備が重要となった。本学の就職状況は昨年に続き大学・短大共に100%になっている。本学は資格を活かし専門職の割合が多いのが特徴で、大学生生活科学科は県内外の教員・行政の社会福祉士・建築関係に86%、食物栄養学科も病院や福祉施設・食品関係の管理栄養士など食に関する職種に86%就職している。短大健康栄養学科も栄養士として病院や食に関する仕事に82%、幼児教育学科は幼稚園・保育園・認定子ども園等に96%就

職している。地域創成学科は多岐にわたり一般企業に就職をしており、専攻科文化科学専攻・幼児教育学専攻も全員就職をして社会貢献をしている。県外就職は昨年度と比べ大学2%、短大9%の増加傾向にあり、福島県内の企業や自治体との連携を強化し、地域に貢献できる人材の育成に努めたい。

学生の就職観に変化もあつた。ワークライフバランスを重視しつつ、企業の規模や業種にも関心をもち、個々人の価値観やライフスタイルに合った企業を慎重に選ぶ傾向がみられた。今後

も学生と企業の相互理解を深める取り組みや、柔軟な働き方への対応が必要で、就職活動は単なる就労手段ではなく、人生観と社会貢献への第一歩になると考えられる。目先の情報に惑わされることなく、修得した学びを活かし、社会に出てからも自分を成長させてほしい。

関口名譽学園長の 教えを理解

教養講座 安齊開成いすず会理事長が語る

令和7年度第1回教養講座は4月22日、創立記念式典に続いて開かれ、「創立者・関口富左名譽学園長を知る」をメインテーマに繰り広げられた。

初めに同窓会が関口名譽学園長のインタビューを収めて制作した動画「されど私学は愉し」を上映し、女子教育に捧げた情熱と考えを理解した。

引き続き、郡山開成学園同窓会開成いすず会理事長の安齊悦子氏（大槻中央幼稚園長）が「私の知っている富左先生」と題し講演。「学ぶこと、感動した経験はきつと将来の宝になる」



関口富左先生の思い出を語る安齊氏

との教えや忘れられない数々の思い出を語った。

学生の食育の共同研究など視察 デポネゴロ大2教員、行政の事業も研修

本学とMOU(2大学間協定)を結ぶインドネシアの国立デポネゴロ大学の教員が5月13日から15日まで郡山市を訪れ、

本学の食育の共同研究などを視察した。訪れたのは医学部栄養学科のアフマド・シャウキー准教授とジエマラ・アンジャニ講師。インドネシアでは昨年9月に管理栄養士の制度が始まり、今年1月から小中・高校で学校給食を導入したことを受け、先進地の日本の実情を知ろうと来日した。



食育の研究授業を視察するデポネゴロ大の2教員

本学では食物栄養学科の学生らに、デポネゴロ大で毎年開催される本学の学生も参加している短期研修サマーコースの取り組みなどを紹介した。次いで、附属幼稚園を訪れて食物栄養学科と幼児教育学科の学生による食育授業の共同研究を視察。箱の中の見えない野菜を触って当てる



共同研究に参加した学生と教員、幼稚園児ら

米ハーバード大学院生 本学で日本文化を体験

福島県での地域保健に関する学習のため、1月に来日した米国ハーバード大学公衆衛生大学院の学生たちが本学を訪れ、日本文化の理解に努めた。

学生は米国やコロンビア、インドネシアなど7カ国の15人。同大学院国際保健・人口学講座の後藤あや教授(福島県立医大特任教授)が設けた実践型学習コースに参加し、県内各地で研修した。

本学では藍染めで風呂敷を作ったり、茶室「慎思庵」で茶道部の学生のお点前による茶と和菓子を味わったりした。日本の服飾史を知ることができると等身大人形などが並ぶ生活文化博物館も見学し、感動した表情を見せていた。



慎思庵で茶の湯を楽しむ大学院生たち

模擬授業や入試の説明聴く オープンキャンパス始まる

今年度第1回オープンキャンパスは5月11日に開かれ、県内外から本学への進学や編入学を考える高校生と短大生らが訪れた。

当日は「母の日」だったため、同行した母親と一緒に写真を撮影できるフォトスポットを設けたり、将来に向けた就職支援などを聴くキャリア講話を企画した。各学科では学修内容や入試

の説明、模擬授業、在学生との懇談などを実施。このうち、生活科学科建築デザイン専攻の模擬授業では、専用ソフトを用いた住宅の設計体験を行い、母の日にちなんで母親が好みそうなリビングダイニングを設計した。



専用ソフトで設計体験をする参加者

ちよつとサキドリ 女子大生

高校生が行事食の 飾り寿司作り学ぶ 健康栄養学科



行事食の調理を学ぶ高校生

高校生に大学や短期大学部の授業をひと足早く体験してもらう今年度の「ちよつとサキドリ!女子大生」は5月17日、短期大学部健康栄養学科の調理実習から始まった。今回は行事食として「端午の節句」がテーマ。こいのぼりを形取った飾りいなり寿司と梅花模

様の飾り巻き寿司を作った。参加した高校生は、酢飯の作り方を学び、具の薄焼き卵やキュウリなどの下ごしらえをした。油揚げや海苔で包んだ酢飯と具で、きれいに飾り付けて仕上げた。健康栄養学科は6月以降も講義や実習、実験の授業を計画している。スケジュールの公開に参加申し込みはホームページで受け付けている。

7月にサキドリ公開講座 男女問わず参加者を募集 食物栄養学科

大学食物栄養学科は7月19日(土)に男女を問わず高校生や保護者、一般社会人の誰でも参加できる公開講座「もつとサキドリ!女子大生」を開催する。

松南小栄養教諭が講演。引き続き武藤さんの指導で「実践スポーツ栄養ごはんを作ろう」として実習を行う。次いで、食物栄養学科の諏訪雅貴准教授の指導で「自分のからだを知ろう」と題した実習を繰り広げる。参加無料。定員は講演が50人、実習は30人で講演のみの参加も可能。申し込みはホームページの「サキドリ!女子大生」のサイトで受け付けている。



公開講座の広報チラシ

7/23 7/24 7/25

ちよつとサキドリ!女子大生

キャンパスライフを体験しよう!!
～先生に大学の授業を体験してみませんか?～

7/23 13:30-15:30 食品学実験
「おにぎりの実験」
「おにぎりの実験」
「おにぎりの実験」

7/24 14:30-16:00 食品化学
「おにぎりの実験」
「おにぎりの実験」
「おにぎりの実験」

7/25 16:00-17:30 食品衛生学
「おにぎりの実験」
「おにぎりの実験」
「おにぎりの実験」

もつとサキドリ!女子大生

保護者のみなさま、社会人で学びなおしをお考えの方もぜひご参加ください!!

講演者のみなさま、社会人で学びなおしをお考えの方もぜひご参加ください!!

7/19 18:00-18:45 開会の挨拶
18:45-19:00 講演「スポーツ栄養と健康を支える食のチカラ」と題し、公認スポーツ栄養士の武藤真紀さん(二本

【申し込み方法】
郡山女子大学から申し込みをお願いします。
(申し込み締め切りは各開催日の1週間前まで)

【問い合わせ先】
郡山女子大学 健康栄養学科
E-mail: nyoshiki@fshyama.ac.jp

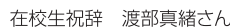
主催: 郡山女子大学 食物栄養学科
後援: 一般社団法人 全国栄養士養成施設協会

大学院・大学・短大・専攻科 237名

大学院修士課程1名、大学
生活科学科27名、食物栄養学
科44名、短期大学部専攻科文
化学専攻9名、幼児教育学専
攻1名、短期大学部健康栄養
学科23名、幼児教育学科60名、



関口学長が「幅広く学んで教養を身に付け、誰からも信頼される女性になってください」と告辞し、来賓や在学生代表の渡部真緒さん（食物栄養学科4年）が祝辞を述べ歓迎した。

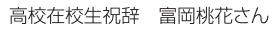


新入生を代表し齋藤幸愛さん(生活科学科)が「今日の社会において輝かしい未来を切り開いていく存在を目指し日々精進してまいります」と誓った。

普通科75名、音楽科8名、美術科13名、食物科23名の合わせて119名が入学した。

来賓と大学生、附属幼稚園児の代表による祝辞の後、生徒会長の富岡桃花さん（音楽科3年）が歓迎のあいさつをした。

新入生代表の佐々木夢叶さん（普通科）が「本校の教育目標に従い、社会に貢献できる女性となれるよう全力で努力い



心講堂で行

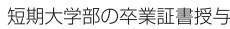
年少組37名と年中組4名、年長組1名の計42名の新入園児は保護者と一緒に入場し、名前を呼ばれると立ち上がった。手を上げたりして返事をした。

賀門康博園長の式辞、関口修学園長と来賓の祝辞の後、年長組の園児が入場。互いに向き会って「毎日、元気に幼稚園に通い、仲良く遊びましょう」と呼び掛けた。



大学生と幼稚園児代表の祝辞

飛躍を誓い新たな一歩

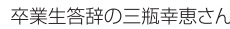


大学院第29回、大学第56回短期大学部専攻科第24回、短期大学部第74回の卒業式は3月18日、建学記念講堂で行われた。

大学院修士課程2名、大学生
活科学科37名、食物栄養学科
75名、専攻科文化学専攻と幼
児教育学専攻が各3名、短大健
康栄養学科45名、幼児教育学
科76名、地域創成学科69名の計
310名、関口修学長が卒業証
書・学位記などを授与した。ま
た優秀な成績を残した大学、
短大の卒業者に学園長賞が贈
られた。

関口学長は「尊敬・責任・自由の建学の精神を忘れず社会の一員として尽力してください」

と告辞した。在学生代表の添田眞史さん（健康栄養学科）の送辞を受け、卒業生代表の三瓶幸恵さん（食物栄養学科）が「コロナ禍の中でスタートでしたが、子どもたちに食事を提供するボランティアなど貴重な経験を積みました。これからも人と人とのつながりを大切にして学んだ成果を生かします」と答辞を述べました。



大学・短大・附属高校 卒

【大学】

- ▼学園長賞
- 柳沼胡春（生活科学科）
- 三瓶幸恵（食物栄養学科）
- 本田美咲紀（食物栄養学科）
- ▼商業施設士協会長賞
- 石井琴実（生活科学科）
- ▼日本ソーシャルワーク教育学校連盟優秀者表彰

▲泉田沙耶香(生活科学科)
 ▲介護福祉士養成施設協会長賞
 ▲渡邊紫陽花(生活科学科)
 ▲全国栄養士養成施設協会会長表彰
 ▲阿部萌花(食物栄養学科)

- ▶【短期大学部】
- ▶学園長賞
- 小林夢花 健康栄養学科
- 桐生菜央 健康栄養学科
- 柏木美知 幼児教育学科
- 佐久間陽花（幼児教育学科）
- 渡邊菜羽（幼児教育学科）
- 會田千晴 地域創成学科
- 関根れいな 地域創成学科
- ▶全国管理栄養士養成施設協会会長表彰
- ▲日本フードスペシャリスト協会会長賞

- ▲橋本希花 健康栄養学科
- ▲全国保育士養成協議会会長賞
- ▲松浦愛奈（幼児教育学科）
- ▲情報処理士協会会長賞
- ▲熊田美桜（地域創成学科）
- ▲ビジネス実務士協会会長賞
- ▲松谷一花（地域創成学科）

【附屬高等学校】
 ◆學園長賞
 八木橋環（普通科）
 ◆學校長賞
 石井美空、藤枝かりん、宗像亜恋
 菊地しづ優、小林加奈（普通科）菅野
 衣織（美術科）
 ◆皆勤賞
 小林瑠菜、佐久間香奈、長田純奈
 古川怜奈、海老根佑來、七海彩花
 （普通科）、笠間明日香（食物科）
 ◆精勤賞

附属高等学校

附属高等学校の第66回卒業式は桃の節句の3月3日、建学記念講堂で行われた。普通科65名、音楽科6名、美術科23名、食物科22名の合わせて116名が学び舎を後にした。

関口修校長が各科の総代へ卒業証書を授与し、3年間の優秀な成績を称える学園長賞や学校長賞、皆勤賞などの表彰を行った。



各科総代へ卒業証書授与

在園児と向かい合い、おくることを受けた卒園児は、楽しい思い出を振り返り「小学校へ行っても、よくみる、よくきく、よくかんがえての教えを守り勉強に運動に励みます」と誓った。



私が附属高校を志望した

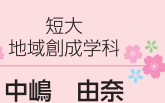


附属高等学校
普通科

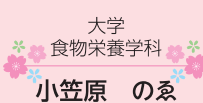
小山 智穂

私が附属高等学校を
志願した理由

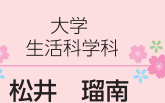
私は本が好きで本に関わる仕事をしたいと考えていました。本学のオープンキャンパスに参加して図書館と地域を繋げる司書の努力を知り、私もその一端を担いたいと考え、本学への志願を決意しました。司書になることは大変だと理解もしていますが、まちづくりの手助けになる図書館、またそれを支える司書を目指して精進していきたいです。



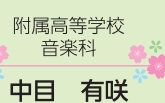
私は多くの人が親しみをもち相談してもらえそうな環境づくりがでます。本学の食・栄養の基礎的な学習や実習だけではなく地域と連携した商品開発や海外大学との交流を積極的に行っている点に魅力を感じ志願しました。知識や技術の習得だけでなく人と人の交流を通し、学びを深められるよう努めたいです。



私は人間や自然とのつながりを大切にできる建築士になることを目標としています。他人との関係が希薄化している現代において、その関係を修復し、持続させていけるような空間をつくりたいと考えています。そのため生活や人間の行動原理を基盤とし、家政学の視点から建築を見るという授業に惹かれ、入学を志しました。



私が郡山女子大学を
志願した理由

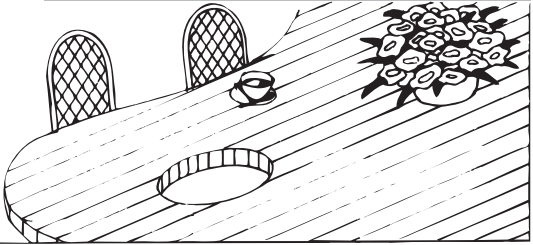


私の附属高校を志望した理由は、郡山女子大学への進学を目指しているからです。保育士になることが夢なので、短期大学の幼児教育学科に入学するために必要である基礎的な知識を身に付けたいと思い、普通科を志願しました。勉強と部活動の両立を頑張りながら知性を深め、充実した高校生活を送っていきたいです。

私が附属高校を志望した理由は、県内で唯一の音楽科があるからです。私は歌うことが好きなので、専門的に音楽を学ぶことができ、アンサンブルなどを通して楽しみながら様々な音楽活動ができることに魅力を感じました。多くの人と関わり、自分自身を成長させていきたいです。また、勉強と部活動の両立にも努めながら教養を深めていきたいです。

ティールーム

コミュニケーション・フォーラム



輝いている学生と

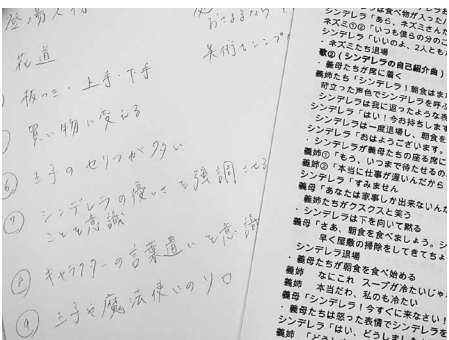
短期大学部幼児教育学科

教授 山上 裕子

2年 鈴木 ひなた

山上…今、何に夢中ですか？

鈴木…卒業研究ミュージカルの台本づくりです。ストーリーの展開や登場人物の言葉遣いなど、仲間と意見を出し合って考えています。初めての経験で難しいですが、皆とコミュニケーションをとって台本をつくっていくことがとても楽しいです。



執筆中の台本

山上…なぜ、ミュージカルを？

鈴木…就職を考えている保育園で毎年劇が行われていて、私も自身も音楽に興味があることから、なかなか経験できないミュージカルを選択しました。

山上…台本を書きたかったの？

鈴木…一年生の時、もみじ会や

卒業研究発表会で大道具を運び、先輩のミュージカルを支えました。次は私がステージに立つのだと思っていました。でも、台本からミュージカルの制作が始まるということを知ったのです。そしてステージを想像しながら仲間と考えることは、こんなに楽しいこととは知りませんでした。

山上…どんなミュージカルに？

鈴木…子どもたちが観るので、主役の性格のやさしさやめげずに頑張る心の美しさを台詞に込めて、華やかなものにしたいと思っています。もみじ会や卒業研究発表会に足を運んでくれると嬉しいです。お話はシンデレラです。

スポGOMI甲子園に参加して

高校美術科3年

藤原 心優

長尾さくら

阿部 柚葉

昨年の夏に私達は「スポGOMI甲子園2024福島県大会」に参加し、拾ったゴミを入れるためにランドセルを作り「オリジナルアイテム賞」をいただきました。ランドセルには、これからを担う子ども達が背負う未来が美しくなるよう想いを込めました。

大会前日まで、学校や近所のスーパーから余った段ボールを貰い、それを使ってランドセルに似せるため頑張っていました。特にこだわった部分は3人でランドセルの色を変えたところです。ひと目見ただけで分かりやすいように、燃えるゴミは赤、燃えないゴミは青、資源ゴミは緑にしてゴミの種類ごとに色分けし、種類別のマークをつけました。横にはフックをつけ、小さな袋を掛けて細かいゴミも入れられるように工夫しました。また、私達のチーム



オリジナルアイテム賞を喜ぶ3人

名である「日本たんぽぽ連盟」のトレードマークであるタンポポをフェルトで作ってチームの団結を表現しました。

当日は、できる限り多くのゴミを見つけてランドセルに入れました。私達が拾ったゴミは2.96kgで他のチームより多くはありませんでした。環境のために活動することができて良かったと感じています。これからも、自分達にできることを探し、積極的に活動していきます。

山に学ぶ

附属幼稚園事務職員

湯田 宏恵

登山を始めて、まだわずか二年。歩くのはもっぱら低山で、初心者域を出るものはありません。それでも、登山道を歩くたびに胸の奥が静かに震えるような感動を覚えます。一見、静まり返った山の中にも、よく目を凝らせば無数の命が脈打ち、生き生きと生命が営みを続けていることに気づきます。

ともに山を歩く先輩方に目をやると、なを携えて登山道を整える方、ゴミ袋を手で静かに山を清めてゆく方、ピンクの目印テープをそと枝にくくりつける方――。

そのどれもが山を敬い、慈しむ行為であり、誰かの為に歩みを進める姿には神々しさすら感

じられます。

私はといえば、息を切らしながら、ようやく山頂にたどり着くのがやっと。そんな自分が恥ずかしくなることもあります。先輩方は歴史の話や山野草の名前など、豊かな知識を惜しみなく分けてくださり、いつも刺激を受けています。

日本百名山の全山踏破などは今の私にとってはまだ遠い夢。まずは地元・福島の魅力溢れる百名山を一つひとつ味わいながら登っていかれたらと思います。山に抱かれ、誰かの為に道を作る先輩方の背中を学び、山に癒される日々をこれからも大切にしていきたいです。



山野草ひとりしすか

私の本棚

「ない仕事」の作り方

作者 みうらじゅん

出版社：文藝春秋

短期大学部地域創成学科

講師 杉本 ゆか

「マイブーム」や「ゆるキャラ」の名付け親としても知られている、みうらじゅんが、どのように

「多様性」は私の専門である障がい児の教育分野のみならず、今では様々な領域で取り上げられる重要な概念であるが、一方でその主張が過ぎると悪しき為政者を利するという意見がある。自分の好きなように生き、他者に関心を払わない人が増えれば、権力を有する者は多数決を意のままに操り民主主義を破壊できるという理屈である。そうならないためには他者と協調したり団結したりして多様性を守る仲間を募る必要がある。多様な考えを認めるといふ意見に賛同する同志と結束するという「非多様」な事態に立ち至るのである。

改めて考えれば、本学の建学の精神である「尊敬・責任・自由」の精神である。本書では、みうらじゅんが「一人電通」という企画、営業、接待まで一人で行う手法を用いて、いかにして新しい仕事を生み出してきたのかを紹介されている。本書を読むことにより、アイデアの閃き方、印象に残るネーミングの付け方、世の中に広める方法などを垣間見ることができる。

タイトルのとおり、世の中にまだ存在しない新しい仕事を生み出すための考え方や具体的方法論が紹介されており、「好

生活診断室 シリーズ 76

「多様性」と「自由」

郡山女子大学生生活科学科

教授 小林 徹

由の「自由」も同様の矛盾を内包しているのではない。初めてこの3つの言葉を知る受験生は「尊敬」と「責任」の重々しさに比べて「自由」の醸し出す気軽さ、華やかさに戸惑うようである。勝手気ままに振る舞いなさいと言われる気がするのだらう。

しかしかつて、女性に学問は必要ないと言われた時代があったこと。学ぶ「自由」を勝ち取るために同志を集め叱咤激励し合つて、必死に自らを高めなければならぬ「自由」ではない。努力があったこと。「自由」とはそんな先人の「非自由」の努力の賜物であることを学生には伝えたい。姿形も思想信条も多様な若者たちが「この学園が大好き」という共通言語をもつことは悪くないと思う。

きなこと仕事をしたい」と願う人や、新しいことに挑戦したい人にとっては、刺激となる内容が含まれている。

「ない仕事」と言われているが、論文の執筆等に置き換えるなど、ないものから新しい物事を生み出す過程を知ることが重要である。筆者のユニークな発想や面白い着眼点、物事に対する熱い姿勢が書かれており、論文の執筆でも乗り越えなければならぬ壁の乗り越え方のひとつとして堅苦しくなく気楽に読める。これから執筆する人だけでなく、行き詰まり感を感じている人にもお薦めである。

絵本の読み聞かせを通し
希望と命の大切さ伝える
幼児教育学科の学生

令和6年度の短期大学部幼児教育学科1、2年生は3月9日、ネットヨタ郡山・郡山インター店の「ぼうさいキッズ教室」でクイズや絵本の読み聞かせを通して子どもたちに命の大切さを伝えた。



子どもたちに絵本を読み聞かせる学生

ネットヨタ郡山の主催で、東日本大震災からの復興の思いを描いた絵本「きぼうのとり」の読み聞かせを提唱する福島民報社と幼児教育学科が協力した。

学生たちは、参加した3歳から8歳までの子どもと保護者に向け、地震や豪雨などの災害が起きた際の行動をクイズ形式で説明。読み聞かせでは震災と原発事故の悲惨さや未来へ向かって歩む子どもたちの物語を語った。

復興の灯火プロジェクト
短大各学科学生らが活躍
震災の記憶と復興訴える

復興の灯火プロジェクト2025は3月11日、郡山市のJR郡山駅西口駅前広場で開催された。イベントは短期大学部が主催し、東日本大震災の記憶を次世代へ伝え、地域文化を継承することを目的としている。今年には市内の小中高校生、復興公営住宅の住民、地域の方々

「おりやま広域圏」
SDGs活動で表彰
食物栄養学科

食物栄養学科

大学食物栄養学科は第6回「おりやまSDGsアワード(教育部門)」を受賞した。

郡山市が、おりやま広域圏内でSDGsの達成に向けて優れた取り組みを行っている個人・団体を表彰している。

食物栄養学科は鏡石町と連携し、幅広い年齢層に食育を通じて健康面の支援を行っていることが認められた。活動として小・中学校で食育に関するワークショップを実施。健康をテーマにしたイベントやコンテス



表彰を喜ぶ食物栄養学科教員

トなど企画型事業を企業・団体、学校に呼び掛け、学生と共に繰り広げている。



灯ろう作りや運営で活躍した地域創成学科生

が制作した約370基の灯ろうが展示された。

地域創成学科の学生は、灯ろう作りやNPO法人のワークショップに参加し、復興公営住宅や地域の方々との交流。当日は運営スタッフとしても活躍した。

幼児教育学科チャイルド・ミュージックコースの学生は、音楽演奏を担当し、訪れた方々に感動を届けた。

健康栄養学科の学生は、キャンドルナイトの企画の一環として防災食のブースを運営。来場者に防災への意識を高めてもらう機会を提供した。

子どもたちの笑顔が
広がるキッズフェス
幼児教育学科

短期大学部幼児教育学科の幼教キッズフェスティバルは12月21日、建学記念講堂で開かれた。

卒業研究発表会を兼ね「夢と希望のわくわくランド」のテーマで、子どもたちと保護者らに楽しいひと時を過ごしてもらおうと催した。

ロビーを会場にした遊びコーナーでは、松ぼっくりを使ったクリスマスツリー作りや魚釣り遊び、的当て大会、絵本の読み聞かせなどを繰り広げた。



子どもたちと楽しくダンス

大ホールでは、ハンドベル演奏や子どもたちと一緒に踊るダンス、ミュージカル「白雪姫」を上演。子どもたちの楽しそうな笑顔が広がり、来場者からは盛んな拍手が送られた。

附属高校令和6年度(12月以降)
各種大会・コンクール成績
※学年は6年度当時

- 【テニス部】
 - ◆東北私学大会福島県予選 女子団体 第3位
 - ◆東北私立高等学校テニス大会 予選リーグ惜敗
- 【剣道部】
 - ◆福島県高等学校選抜剣道優勝大会 女子団体 第3位
- 【新体操部】
 - ◆全国高等学校新体操選拔大会 ハンドボール部 第14位
- ◆東北高等学校選抜ハンドボール選手権大会福島県代表決定戦 第1位
- ◆東北高等学校選抜ハンドボール大会 第2位
- ◆全国高等学校ハンドボール選拔大会 1回戦惜敗
- 【卓球部】
 - ◆第77回東京卓球選手権大会福島予選会 一般シングルス本戦通過 酒井汐里(2年) 全国大会出場
 - ◆東北高等学校選抜卓球大会 学校対抗 予選リーグ惜敗
 - ◆第94回北日本卓球大会 一般女子団体 優勝
 - ◆ジュニア女子シングルス 第2位 酒井汐里
 - ◆ベスト8 神谷美月(1年)
 - ◆バレーボール部
- ◆令和6年度全日本バレーボール高等

学校選手権大会

- ▼1回戦惜敗
- ◆福島県高等学校新人体育大会 第3位
- ◆令和6年度福島県高等学校体育連盟優秀選手賞 佐藤(3年)
- ◆全国私立高等学校バレーボール選手権大会 予選敗退
- 【合唱部】
 - ◆第41回福島県音楽アンサンブルコンテスト 金賞
- 【研究部】
 - ◆中高生探究コンテストセミファイナリスト出場
 - ◆みらい甲子園南東北大会 優秀賞
- ◆探究AWARDS
- ◆清泉女子大学地球市民学部賞【音楽科】
- ◆第4回国際音楽コンクール東京本選 第4位 石川芽衣(2年)
- 【食物科】
 - ◆インスタントラーメンオリジナル料理コンテスト全国大会 最優秀賞 尾根伶奈(2年)
 - ◆審査員特別賞 三浦桃果(1年)
 - ◆第37回きのこ料理コンクール全国大会 日本特用林産振興会長賞 味戸梨緒(1年)

ようこそ
郡山開成学園へ
新任教職員の方々のご紹介

(4月1日付)

短期大学部

【期限付採用】



高橋 聖菜 助手
郡山女子大学家政学部食物栄養学科卒(令和7年3月)
所属 健康栄養学科



佐野 麻理奈 助手
郡山女子大学家政学部食物栄養学科卒(令和7年3月)
所属 健康栄養学科

事務局

【期限付採用】



泉田 誠 職員
福島県立田村高校卒。前職は郡山信用金庫勤務
所属 経理部長



菅野 香子 職員
郡山女子大学短期大学部専攻科文化学専攻卒
所属 入学事務・広報部

昇任

教授

廣野 正子(大学・生活科学科)

異動

大学食物栄養学科

安田 純子(大学・生活科学科)

令和6年度で退職された方

次の方々が退職されました。これまでのご尽力に心より感謝申し上げます。なお、安田、平栗両氏は引き続きお勤めいただいております。

第一定年

安田 純子(大学・生活科学科教授)

平栗 洋三(高校・事務室職員)

依願退職

水野 時子(大学・食物栄養学科教授)

亀田 明美(大学・食物栄養学科准教授)

斉藤 弘久(短大・地域創成学科教授)

和知 剛(短大・地域創成学科准教授)

退職
期限付採用者 雇用期間満了

西山 慶治(大学・食物栄養学科教授)

上遠野 伶(短大・健康栄養学科助手)

大野 絵梨子(短大・健康栄養学科助手)

松本 侑子(短大・地域創成学科助手)

伊藤 清和(高校・校長代理)

飯村 菜月(高校・講師)

佐藤 明莉(幼稚園・教諭)

山本 邦雄(事務局長)

村上 利男(学生食堂フェリーチエ)

石井 夕喜(事務局・入学事務広報部)

一歩ずつ進んで夢へ

全国大会出場目指す

附属高校書道部



昨年の東北大会で準優勝した作品

の二つです。

「書道パフォーマンス」は6分間で、字を書く所作を含め、動きをそろえること、ダンスを取り入れ、全員で息を合わせることが求められます。紙のつなぎ方も、紙を立たせる方法もわからないまま、SNSでの情報を参考に試行錯誤しながら取り組んできました。そして少しずつ理解することができました。

まずは、何をテーマに発表するのか、「大字」は何にするのかということから話し合いが始まりました。選曲はいろいろな曲を考えてみんなの聴きあつて、なぜその曲がいいと思うのか理由をプレゼンして、意見を一致させま

す。そして私たちは発表の6分間にストーリー性を持たせることを意識して構成を考えています。このストーリー性こそが、私たちの強みになると信じています。夢を叶えるために、これからも日々の練習に励んで行きたいと思っています。



夢の実現へ張り切る部員でたち

ハワイでは日本食が親しまれており、家庭や飲食店だけでなく、スーパーでも日本の食材が豊富にそろっていました。日系移民がハワイで活躍した歴史があったからこそ、現在まで日本の料理が受け入れられ、地域に根付いているのだと思います。しかし、日系移民の高齢化に伴い文化の継承が途絶える危機にあることを知りました。

また、ハワイの高校生や大学生との交流もあり、言葉で伝えることの難しさを痛感しました。福島県について英語で紹介する機会がありました。異文化の理解にはさらなる努力が必要だと考えました。

この研修を通じて、日本人移民の歴史や食文化の広がりや学び、自国の文化を再認識することができました。今後も新しい経験を積んでいきたいです。

ハワイ大学ヒロ校で研修
日系移民の文化に触れる
龍宮あすか
菊池真帆
菊池夏帆
大学
食物栄養学科

今年2月19日から26日までの8日間、食物栄養学科2年生(当時)の3名は、ハワイ大学ヒロ校日本研究学科の本田正文教授のコーディネートの下、ハワイ研修に参加しました。



ハワイの人々と交流した学生たち

新しい本が届きました。
第28回

郡山女子大学 大学図書館

図書館おすすめの本をご紹介します。

『発達障害&グレーゾーンの子どもの「1人でできる子」になる言葉のかけ方・伝え方』

村田しのぶ著、日本実業出版社
請求記号 378.8||Mu

『眠っている間に体の中で何が起きているのか』

西多昌規著、草思社
請求記号 491.371||Ni

『大学生学びのハンドブック 6訂版』

世界思想社編集部編、世界思想社
請求記号 377.15||Se

『ツレが「ひと」ではなかった：異類婚姻譚案内』

川森博司著、淡交社
請求記号 388||Ka

第70回卒園記念屏風 附属幼稚園

令和6年度の卒園児が描いた屏風です。コックさんやケーキ屋さん、看護師、幼稚園の先生、アイドル、宇宙飛行士など、将来みんながなりたい夢や職業が描かれています。そして、いつまでも仲よく元気でいることを表しました。



やなぎ組
「みんなおともだち」



まつ組
「ゆめのくに」

紙上美術展 106

木もれ陽

日本の四季は美しい。春、夏、秋、冬の4つの季節がそれぞれはつきりしています。春には桜を愛で、夏は蒸し暑く、秋には木々の紅葉が美しく、冬は雪景色が楽しめるなど。最近では、春を通り越して一気に夏を感じる日があったり、暑さがおさまらぬまま寒さを感じるようになるなど変わってきているように感じます。

季節の訪れをいち早く気づくために用いられていたのが二十四節気。各季節の変化を15日ごとに6つにわけ、月齢と太陽の両方

から季節の移り変わりを素早く察知して、農耕に役立てていたといわれています。6月、今頃は芒種、夏至があります。芒種は6月上旬(下旬にあたる節気で、芒(のぎ)の種を撒く時期とされたことから米や麦などの穀物の種をまく頃で、このころ田植えをしてきました。虫も飛び始めます。あじさいや桔梗が美しく、トマトや鰯がこの時期においしくなります。ふるさとの風景や食からも、日本の季節を楽しみましょう。

(久)